

東京開催

新任役員・次世代経営幹部のためのエグゼクティブ・プログラム 新任取締役・執行役員セミナー

～急激な変化と先が見えない環境に対応するリーダーの役割とマネジメント～

インフレや円安の影響、気候変動リスクや人権問題等のサステナビリティ課題への対応等、現在、企業を取り巻く環境は大きく変化しており、今後も先が見えない環境が続くものと思われます。

このような環境の下、取締役や経営幹部には、これまで以上に、競争優位の戦略立案・実行と変革を推進する経営マインドや強力なリーダーシップが求められます。

さらに、企業不祥事が相次ぎ、社会問題として取りだたされる中、会社法、コーポレートガバナンスコード等の規制強化を受け、取締役の役割や責任は従前とは比較できないほど、重く強化されております。

「新任取締役・執行役員セミナー」は、新任取締役・執行役員や次世代経営幹部候補者が、こうした環境で求められるリーダーとしての資質・能力を体得し、自らの意識を改革し実践に役立てていただくことを目的とした特別なプログラムです。

全講(5日間)

- A日程: 2024年7月11日(木)・7月17日(水)・7月18日(木)・7月19日(金)・7月23日(火)
- B日程: 2024年7月11日(木)・7月23日(火)・7月24日(水)・7月25日(木)・7月26日(金)
- C日程: 2024年7月11日(木)・7月23日(火)・8月7日(水)・8月8日(木)・8月9日(金)
- D日程: 2024年7月11日(木)・7月23日(火)・9月4日(水)・9月5日(木)・9月6日(金)

コアコース(3日間)

- A日程: 2024年7月17日(水)・7月18日(木)・7月19日(金)
- B日程: 2024年7月24日(水)・7月25日(木)・7月26日(金)
- C日程: 2024年8月7日(水)・8月8日(木)・8月9日(金)
- D日程: 2024年9月4日(水)・9月5日(木)・9月6日(金)
- E日程: 2025年2月18日(火)・2月19日(水)・2月20日(木)

[対象]
取締役・執行役員
(とくに新任の方におすすめします)
次世代経営幹部候補者



有限会社アイグラム 代表取締役
スミダコーポレーション株式会社 社外取締役
兼 指名委員会議長 報酬委員会議長
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 客員教授

梅本 龍夫氏



プライトワイズコンサルティング
合同会社 代表社員
公認会計士・税理士

金子 智朗氏



TMI総合法律事務所
パートナー弁護士

葉玉 匡美氏



有限会社
吉成コンサルティング
代表取締役

吉成 英紀氏



法政大学
人間環境学部
教授

長谷川 直哉氏

参加要領

■ 申込方法 支払方法

- ①開催前営業日15時までに弊社Webサイトにてお申込みください。
- ②当日のキャンセルにつきましては、受講料のご返金はいたしかねます。
- ③振込によるお支払いの場合は、開催日前日までお振込みください。(振込手数料は貴社負担でお願いいたします)
- ④本会場においては、録音・録画・写真撮影は固くお断りいたします。

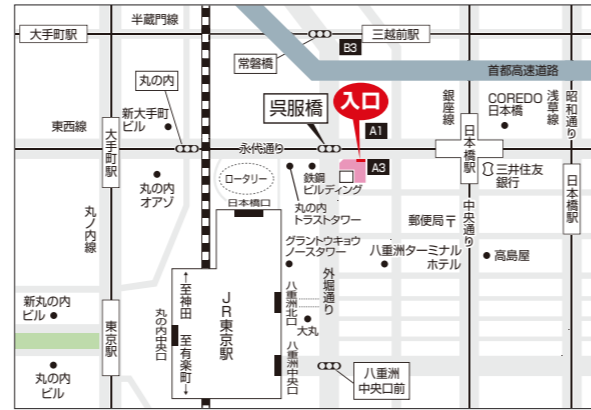
■ 会場

弊社ホール (三井住友銀行呉服橋ビル)
東京都中央区八重洲1-3-4 TEL.0120-398-821

受付は30分前より開始いたします。
※会場は変更させていただくことがあります。(変更の場合は事前にご案内いたします)

交通のご案内 J R : 東京駅 八重洲北口より徒歩約5分
日本橋口より徒歩3分
地下鉄 : 日本橋駅 A3出口より徒歩約1分
三越前駅 B3出口より徒歩約5分
※お車でのご来場はご遠慮ください。

電話 【平日9:00~17:00】 0120-398-821



※ATMコーナーからはご入場いただけません

■ 受講料 (1名様につき 消費税込)

※新任取締役・執行役員セミナー(全講(5日間)・コアコース(3日間))お申込みの場合、受講料が割引となります。
※昼食はご用意しておりません。
※資料代を含みます。

受講料(1名様につき・消費税込)	新任取締役・執行役員セミナー		役員・経営幹部に必要な会計知識(1日)	ESG/SDGsの概要と企業に求められる実務対応(半日)
	全講(5日間)	コアコース(3日間)		
SMBC経営懇話会特別会員	160,380円	111,870円	33,000円	20,900円
SMBC経営懇話会会員	185,130円	128,700円	38,500円	24,200円
上記以外の方	212,850円	148,500円	44,000円	27,500円

申込方法・支払方法

開催前営業日15時までに弊社「Webサイト」からお申込みください。 ※FAXでのお申込み受付を終了させていただきました。何卒ご了承ください。

1 SMBCコンサルティング教育サイト

ビジネスセミナーTOP画面より「来場」をクリック。



2 セミナー検索

必要事項をご入力の上、お申込みください。



開催日、階層、分野、フリーワード(講師名)等でお選びいただけます。

3 請求書・受講証

SMBC経営懇話会会員の方は原則口座振替とさせていただきます。会員以外の方は請求書をWebサイトからダウンロードしてください。受講料はセミナー開催の前営業日の15時までに振込みください。(振込手数料は貴社負担でお願いいたします)

4 セミナー当日

受講証をお持ちの上、会場にお越しください。
受講証はセミナーお申込みと同時にWebサイトからダウンロードいただけます。
※SMBC経営懇話会会員の方で会員IDでログインせずにお申込みされた場合は、非会員価格が適用されますのでご注意ください。

●セミナー名、開催日、プログラム、受講料等が予告なく変更になる場合があります。お申込み時点で定員に達している等の理由によりお申込みいただけない場合があります。また、募集状況によりセミナー開催が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。●自然災害等を理由にセミナーを中止する場合は、開催日前日の15時までにその旨弊社Webサイトに掲載いたします。その場合、受講料は全額返金いたしますが、交通費等のキャンセル料につきましてはお客様のご負担でお願いいたします。●セミナーの最新情報は弊社Webサイトでご確認ください。

問合せ先

SMBC コンサルティング(株) セミナー事務局 TEL 0120-398-821 [受付時間:平日 9:00~17:00]
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-4 (三井住友銀行呉服橋ビル) Webサイト: <https://smbc-consulting.co.jp>

S900001G S900002G S900003G S900100G S900101G
S900001M S900002M S900003M S900100M

コア科目 [A日程]7月17日(水) / [B日程]7月24日(水) / [C日程]8月7日(水) / [D日程]9月4日(水)

[リーダーシップと戦略の実行] 10:00~17:00

- 1. 経営戦略の基本
1) 戦略とは
●戦略思考を身につける
～競争優位をどう築くか～
2) 全社戦略のフレームワーク
●ポートフォリオ管理
～事業の「選択と集中」～
3) 事業戦略の作り方
●ポジショニングとケイパビリティ
～位置取りで勝つか、組織能力を磨くか～
4) 全社戦略および事業戦略の事例とケーススタディ
4) 変革推進型のリーダーシップ
●カリスマ型リーダーシップ
●イノベーター型リーダーシップ
●サーバント型リーダーシップと
自律発想型フォロワーシップ
5) 変革期のリーダー像&フォロワー像
6) 上司&部下vsリーダー&フォロワー
●誰が(何が)中心か
●タテ型/外発的動機vsヨコ型/内発的動機
7) ケーススタディ
4. 物語マトリクス理論
1) 物語マトリクス理論とは
●ビジネスにおける「物語」の必要性
～イノベーションや創発を促進するシナリオ～
2) 戦略開発と組織開発の連続化
3) 深化と探索の一体的マネジメント
4) ダイナミック・ケイパビリティの習得
●急激な環境の変化に対応する能力
5) ケーススタディ
5. 両利きの経営
1) 両利きの経営とは
●企業に求められる「既存事業の深化(漸進的イノベーション)」と「新規事業の探索(飛躍的イノベーション)」の両立
2) 深化と探索を両立させる
3) 整合性モデルを活用する
4) 戦略と組織を一体化する
5) ケーススタディ

有限会社アイグラム 代表取締役
スミダコーポレーション株式会社 社外取締役
兼 指名委員会議長・報酬委員会議長
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 客員教授

梅本 龍夫 氏



略歴: 1956年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒、スタンフォード大学経営大学院卒(MBA)。日本電信電話公社(現NTT)、
ペイン&カンパニー、シュローダー・ベンチャーズを経て株式会社サザビー(現サザビーリーグ)取締役経営企画室長に就任。同社の第二創業を推進。また同社合併事業のスターバックス・コーヒー・ジャパン株式会社の立ち上げプロジェクトの総責任者となる。他にエストネーションおよびアコメヤトウキョウ等の企画立案・事業立上げを推進。2005年に退任、同年アイグラム創業。物語を基軸とした新しい経営コンサルティングを開始。2015年より立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科にてビジネスと社会をつなぐプラットフォーム構築の研究・教育に従事。専門分野は、物語マトリクス理論、経営戦略、組織開発、新規事業開発、マーケティング、ブランディング、リーダーシップ&フォロワーシップ論、サードプレイス論、ライフストーリー論、パーソナリティ類型論。
著書: 「数の神話—永遠の円環を巡る英雄の旅」(コスモスライブラリー 2009)、「日本スターバックス物語—はじめて明かされる個性派集団の挑戦」(早川書房2015)
共著: 「都市・地域政策研究の現在」(金安若男 他 編:一般財団法人 地域開発研究所 2019)第2章「都市の物語構造—新宿区の不思議な魅力の源泉を探る—」、「競争優位に導く業務改善とイノベーション」(矢作尚久編、日本医療企画2022)第1章「イノベーション」第2章「経営」

コア科目 [A日程]7月18日(木) / [B日程]7月25日(木) / [C日程]8月8日(木) / [D日程]9月5日(木)

[会計と意思決定] 10:00~17:00

- 1. 会計の種類とそれぞれの目的
1) 会計の種類
●外部に報告するための「財務会計」 ●マネジメントに役立てる「管理会計」
2) 避けて通れないIFRS(国際会計基準)の影響
2. 財務諸表の見方・読み方
1) 財務諸表の基本構造
●主要3表の相互連関 ●貸借対照表(B/S):左右の関係と上下の関係
●損益計算書(P/L):段階的利益計算と各利益の意味 ●キャッシュ・フロー
2) 収益性
●「収益性」とは資本利益率である ●2つの指標 ROAとROE
●ROAを分解する
【ケーススタディ】実在企業の収益性分析
3) 生産性
●生産性とは経営資源の活用度 ●ポスト資本主義時代の生産性の意義
【ケーススタディ】実在企業の実産性
3. 意思決定のために会計をどう役立てるか
1) 意思決定に役立たなければ管理会計ではない
●比較対象の明確化 【演習】損失額はいくらか
●管理会計特有の埋没コストと機会コスト 【演習】追加受注するか否かの意思決定
2) 管理会計をカタチにする
【演習】強化・撤退すべき部門はどれか
●変動費と固定費を分ける ●固定費を個別と共通に分ける
●個別固定費を管理可能性で分ける ●共通部門の予算差異を分離する
●配賦について考える ●利益の源泉は顧客
【ケーススタディ】組織戦略と管理会計
4. 「合理性を超える」意思決定
1) 合理性のワナ
2) 合理性を超えて成功したケース ●グーグル、アップル
3) これからのガバナンスのあり方

ブライトワイズコンサルティング合同会社
代表社員
公認会計士・税理士

金子 智朗 氏



略歴: 1965年生まれ。東京大学工学部、東京大学大学院工学系研究科修士課程卒業。日本航空株式会社において情報システムの企画・開発に携わる間に公認会計士試験に合格。プライスウォーターハウスクンサルタント株式会社を経て、2000年に独立。現在、ブライトワイズコンサルティング合同会社代表社員。実務経験に基づく会計とITの専門性を活かし、会計全般、業務プロセス、内部統制、ITに関するコンサルティングを幅広く行うとともに、企業研修や講演も多数行っている。名古屋商科大学大学院ビジネススクール教授も務める。
著書: 「ケースで学ぶ管理会計」[「合理性を超えた先にイノベーションは生まれる」]「経営分析の超入門講座」[「管理会計の基本がすべてわかる本」]「MBA財務会計」他多数。

コア科目 [A日程]7月19日(金) / [B日程]7月26日(金) / [C日程]8月9日(金) / [D日程]9月6日(金)

[取締役の責任とコンプライアンス・法律知識] 10:00~17:00

- 第1部 会社法・金融商品取引法等が求める取締役の義務と責任
1. 取締役・取締役会の基礎知識
1) 取締役とは 2) 取締役会とは 3) 取締役会の権限
2. 取締役の責任
1) 民事責任 2) 行政責任 3) 刑事責任
3. どのような場合に取締役は責任を負うか
1) 善管注意義務違反 ●経営判断原則 ●内部統制・監督責任
2) 金融商品取引法上の義務 ●開示義務違反
4. 責任追及訴訟(代表訴訟)
1) 代表訴訟の最近の傾向 2) 典型的な代表訴訟のパターン 3) 代表訴訟への対応
第2部 具体例にみるコンプライアンスと法律知識
1. 労務
1) 労務問題も取締役の損害賠償責任となるか 2) 過労死の事例と対応策
3) うつ病の事例と対応策 4) セクハラの実態、最近の傾向と対応策
5) パワハラの実態と対応策
2. 粉飾決算
1) 粉飾決算は取締役の責任問題に直結
2) 架空売上、循環取引など、業績の粉飾の対応策
3) 架空債務、キックバックなど、利益追求のための粉飾の対応策
3. 偽装・情報漏洩
1) 表示偽装の事例と対応策 2) データ改ざんの事例と対応策
3) 個人情報漏洩の事例と対応策
4. 独禁法・下請法
1) カルテルの事例とリニエンシーの実務 2) 下請法の事例と対応策
5. インサイダー取引
6. 事後的リスク管理としてのマスコミ対応

TMI 総合法律事務所
パートナー弁護士

葉玉 匡美 氏



略歴: 1989年東京大学法学部卒業。1991年最高裁判所司法研修所入所。1993年検事任官、熊本地検検事などを経て2001年法務省民事局付検事。会社法・社債等振替法立案に携わる。2006年東京地方検察庁特捜部検事。2007年よりTMI総合法律事務所パートナー弁護士。2022年4月1日より東京大学大学院法政学政治学研究所 客員教授。
著書: 「Q&A 決算修正の実務詳解」(中央経済社)、「株券電子化ガイドブック[実務編]」共著(商事法務)、「会社法大系1」共著(青山書院)他

選択コース

[役員・経営幹部に必要な会計知識] 7月11日(木) 10:00~17:00

～会計の基本を理解するために～

取締役や経営幹部は、「会計を何となく知っている」「会計は業務経験がないから苦手だ」では済まされず、会計の本質を理解して経営に活かしていくことが必要です。

本講座は「新任取締役・執行役員セミナー」の前に、経営視点から会計の基本を理解したい方、今一度、会計知識をしっかりと確認したい方に、受講をおすすめします。

有限会社
吉成コンサルティング
代表取締役

吉成 英紀 氏



[ESG/SDGsの概要と企業に求められる実務対応] 7月23日(火) 14:00~17:00

～今後の経営に必要な不可欠なSDGs～

SDGs(持続可能な開発目標)に対する社会の関心が高まっており、多くの企業でSDGsの実現に向けた取り組みが検討されています。また、投資家は企業のサステナビリティを意識し、ESG(環境・社会・ガバナンス)の要素を考慮した投資判断が急速に広まっており、脱炭素経営へのシフトなど、企業は対応に迫られています。

取締役や経営幹部は、企業と社会の関係性からESGとSDGsの意義や重要性を理解しておくことが必要であり、「新任取締役・執行役員セミナー」と合わせて、ご受講をおすすめします。

法政大学
人間環境学部
教授

長谷川 直哉 氏

